

2

自助・共助の重要性

求められる 日頃からの 地域力

大規模災害が発生した直後は、状況に合わせて適切な避難行動を行うなど、自分自身の命や身の安全を守る「自助」とともに、隣近所で協力して、生き埋めになった人の救助活動を行ったリ、子どもや要配慮者の避難誘導を行ったりするなど、地域コミュニティでの助け合い「共助」が大切になります。



また、在宅避難をした場合でも、町内会や自主防災組織を通して、情報収集や不足する物資の提供を受けることになりま。日頃から町内会や自治会の防災訓練に参加するなど、顔の見える関係を築いておくことが大切です。

在宅避難 への備え

東日本大震災では、市役所や職員の被災により、被災者を支援するべき自治体の多くで行政機能が麻痺し、「公助」の限界が明らかになりました。

また、阪神・淡路大震災では倒壊した建物から救出された人の8割が、家族や近所の住民に

よって救出されたとの調査結果があります。

これらのことから、従来の防災対策の中心だった「公助」に加え、今後は「自助」「共助」にも取り組んでいく必要があります。

ぜひ、各家庭で在宅避難に向けた備蓄などの「自助」、町内会や自主防災組織活動への積極的な参加などの「共助」に取り組み、防災力を向上させましよう。

3

雪害への備え

- ・冬期間は地域により天気が急変し、車が立ち往生することも。そのため防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどは常に車に用意しておき、十分に燃料があることを確認してから出かけましよう。
- ・万一に備えて車に飲料水や非常食の用意も！
- ・運転中、地吹雪などで危険を感じたらコンビニエンスストアやガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましよう。
- ・車が立ち往生した時は、JAFなどのロードサービスや近くの商店などに必ず救助の依頼を！ その際、車が目立つようにハザードランプの点灯や停止表示板を置ましよう。
- ・避難できる場所や人家がなければ、消防(119番)や警察(110番)に連絡し、車の中で救助に備えてください。なお、通報者の位置を正確に把握できるよう、携帯電話で通報する際はGPS機能を有効にましよう。
- ・車が雪に埋まった時はエンジンを切りましよう。マフラーが雪に埋まると排出ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。やむを得ずエンジンをかける時は窓を開けて換気し、小まめにマフラーの周りを除雪してください。

車が吹雪で 動けなくなったら



▲道HP

外出を避ける

近年、急速に発達した低気圧の影響により、吹雪の発生頻度が低かった地域でも暴風雪などの災害が発生しています。

日頃から気象情報に注意して、暴風雪が予想される時は、家の中で過ごすなど外出を避けましよう。



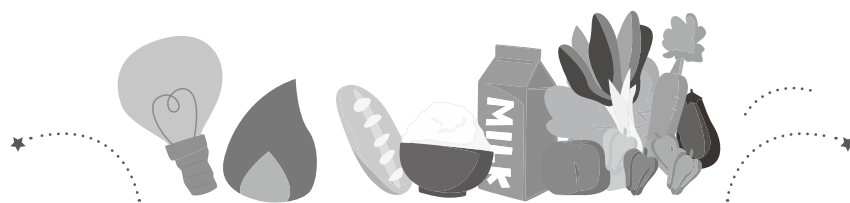
やむを得ず
車で外出する時

携帯電話で気象情報や道路情報を取得できますが、地域によっては電波の不感地帯があるため、携帯電話を過信せず、道路状況に応じた無理のない運転を心がけましよう。

非課税世帯などへの 物価高騰重点支援給付金

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響
が大きい住民税非課税世帯などに対し、1世帯当たり3万円を支給します。

また、支給対象世帯のうち、18歳以下の児童を扶養する世帯には、対象児童
1人当たり2万円を支給します。



▲市HP

対 象

R6/12/13時点で石狩市に住民登録がある世帯で、世帯全員が
令和6年度住民税非課税の世帯

支 給 額

1世帯当たり：**3万円**

こども加算：対象児童1人当たり**2万円**

↳18歳に達する日以降最初の3/31までの児童

申請方法

対象の世帯へ確認書を発送します。必要事項を記入し、同封の返
信用封筒で返送してください

※確認書は準備ができ次第発送します

申請期限

5/30(金)

支給時期

確認書を受け付けてから3～4週間後に支給予定

そのほか

別世帯で扶養する18歳以下の児童(親元を離れて暮らしている
学生など)がいる場合は申請が必要です

●R6/1/2以降に転入した方がいるなど、申請が必要な場合があります。詳細は市HPでご確認
ください

●DV(ドメスティック・バイオレンス)による避難などにより、基準日(R6/12/13)において石狩
市に住民登録がない方も給付金を受給できる場合がありますので、ご連絡ください